

平成29年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	11 健やかに産み育てられる環境の整備	
施策	01 母子保健の推進	
内容	【現状】 少子化・核家族化の傾向は続いており、子育て家庭の経済的・精神的支援とともに、子育てを社会全体で支えあう環境の整備が求められている。 そのなかで、健やかに産み育てる環境を整え、妊産婦・乳幼児の健康の確保、子育て親子の交流、育児不安の軽減を図るとともに、関係機関と連携しながら子育て支援を行う。また、予防接種により疾病予防につなげる。	
	【課題】 子育て家庭の価値観の多様化や要望等にも配慮しながら、子育て支援に取り組む必要があるが、これらの事業の多くは、国・県の施策によるところが大きく、その動向を踏まえて町としての施策を考える必要がある。	
【外部評価結果】	【所見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている
70 母子保健事業	健康福祉課 健康係	【今後の方向性】 : 3. 一層の拡充が必要
【取組】		【所見】 :
○妊産婦の健康管理の充実（母子健康手帳交付時、妊婦教室、赤ちゃん訪問をとおした健康相談） ○乳幼児健診の充実と個別に合わせた乳幼児の保健指導、健康相談 ○健やかな生活リズムの確立のための育児、食育学習の継続実施		妊産婦・乳幼児に対しては小児科医、歯科医、歯科衛生士、助産師、看護師等の多職種の協力を得ながらきめ細かい支援を実施しているが、更に国・県から「子育て世代包括支援センター」の平成31年度までの設置や産前産後サポート事業等妊産婦支援の充実が求められており、今後の支援体制の整備や人材確保等が必要である。
【事業】	【所管】	【評価結果】 : A. 達成できている
72 特定不妊治療費助成事業	健康福祉課 健康係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持
【取組】		【所見】 :
○特定不妊治療（体外受精及び顕微授精）の周知と費用助成額の充実及び継続		申請件数の増加の実態にあり、平成28年度から、初回治療者に対するの助成増額や男性不妊に対しても助成を拡大してきた。近隣市町では助成額の更なる増額を実施・検討している状況であることから、今後の状況を見ながら検討していくことも必要と考える。
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :

平成29年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	11 健やかに産み育てられる環境の整備	
施策	02 ゆとりある子育て環境の整備	
内容	【現状】 少子化が進むなか、子育てしやすい環境をつくることが求められ、就学前乳幼児及び小中学校の児童・生徒の健やかな成長と子育て支援を行うにあたり公平かつ適正な制度運用を図っていく必要がある。 医療給付については、平成23年度から小中学生の通院も対象として拡大したことから、中学生までの子を持つ保護者にとって、医療費の自己負担に対する助成という側面からの子育て支援は、一定の役割を果たしていると思われる。	
	【課題】 平成23年度より、小中学生の通院費にかかる医療給付を対象とした事業の拡充を図ったところであるが、今後は類似制度との調整を図りつつ、事業の内容について検討していく必要がある。 子育て支援事業を通して、子育て先輩ママから新米ママへの指導や、育児サークル化への発展も視野に入れた事業の実施が求められる。	
【外部評価結果】	【所見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている
71 子育て支援センター事業	健康福祉課 保育関係	【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】		【所見】 ：
○子育て支援専門員の配置 ○育児不安等に対する相談指導 ○子育て情報の提供		子育て支援として、親子の交流の場の提供や子育てサークル支援、子育て相談、子育て講演会を実施し、育児不安の軽減に努めた。今後も子育てに関する専門的な支援を行う拠点となるよう事業実施していく必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： A. 達成できている
72 子育て支援事業	健康福祉課 福祉係	【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】		【所見】 ：
○出産祝金の支給		住宅団地やアパートへ転入する若年夫婦世帯が増え、転入後に産するケースが増加しており、出生総数は微増傾向にある。子育てにかかる経済的支援の観点から、本事業による継続した支援が必要である。
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： A. 達成できている
73 子育て支援医療給付事業	町民課 国保係	【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】		【所見】 ：
○就学前乳幼児及び小・中学生の医療給付（扶助）		医療給付費の自己負担に対する助成という側面からの子育て支援は、子育て環境の充実を図るうえで重要な事業であり、一定の成果が得られている。 事業対象者を中学生まで拡大したが、近隣市町の対象年齢拡大の動向を注視し、当該制度について適正を図っていくこととする。

平成29年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	12 たくましく、確かな知識と個性豊かな魅力ある人材の育成		
施策	01 生きる力を育む学校教育の推進		
内容	【現状】 ○確実な学力習得に対する支援 ○多様な教育課題への対応 ○保・幼・小・中の連携と一貫性のある教育の推進 ○安全、安心な教育環境の整備 「知・徳・体」の調和のとれた学校教育により、生きる力を培うことが求められている。 ※平成24年度で三川中学校改築事業は完了している。		
	【課題】 習熟度に応じた学習指導体制や障害の程度や発達段階に応じた特別支援教育体制を整えることにより、「知・徳・体」の調和のとれた教育を推進することが課題となっている。 また、増えつつある軽度発達障害を抱える児童生徒に対しては、個別的な対応支援が必要な状況にある。		
【外部評価結果】	【所見】		
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要			
【事業】	【所管】	【評価結果】 : A. 達成できている	
71 保育園感性情操教育推進事業	健康福祉課 保育園係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持	
【取組】	【所見】 :		
○保育園・幼稚園における芸術文化体験事業の実施	感性・情操を豊かにするためには、長い時間をかけて育成する必要があり、幼稚園・学校教育へと継続していくものであるため、引き続き事業を行うことが必要である。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : A. 達成できている	
72 外国語活動推進事業	教育委員会 教育課 学校教育係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持	
【取組】	【所見】 :		
○英語指導助手、英語指導員の配置	幼児・学童期にネイティブスピーカーとの会話を経験することは非常によい体験である。また、児童・生徒の英語に関する関心と授業における積極性向上に関して、英語指導員の貢献を高く評価している。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている	
73 育英奨学資金造成事業	教育委員会 教育課 学校教育係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持	
【取組】	【所見】 :		
○育英奨学資金貸付に充てるための安定的かつ確実な基金への造成	意欲的に勉学する目的で進学しようとする学生を支援するため基金を造成して無利子貸付を行っている。貸付を受けている学生の保護者から高い評価を受けている。		

【事業】 74 教育課題研究推進事業	【所管】 教育委員会 教育課 学 校教育係	【評価結果】 ： A. 達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○教育課題の解決と児童・生徒の学力向上に向けた調査研究業務の委託（委託先：三川町教育研究所）		【所見】 ： 児童一人ひとりへの個別の支援指導が求められているなか、様々な教育課題がある。それらの課題解決には保幼小中学校等の連携が不可欠であり、事業を継続していく必要がある。
【事業】 75 特別支援教育推進事業	【所管】 教育委員会 教育課 学 校教育係	【評価結果】 ： A. 達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○学校支援員（2人）、個別介助支援員（1人）、個別指導支援員（1人）、特別支援教育等支援員（1人）、特別支援学級支援員（2人）の配置 ○教職員及び保護者への指導・助言		【所見】 ： 特別な支援を必要とする児童・生徒の視点に立ち、個々のニーズを的確に把握することにより、適切な指導と必要な支援を総合的に推進している。対象人員等に合わせ支援員等の配置を調整する必要がある。
【事業】 76 小学校施設等整備事業	【所管】 教育委員会 教育課 学 校教育係	【評価結果】 ： A. 達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○年次的な校舎施設の改修整備		【所見】 ： 学校施設の状況を定期的に確認しながら、状況に合わせて適切な時期に修繕または改修整備を行っていく。
【事業】 78 小学校教育機器等整備事業	【所管】 教育委員会 教育課 学 校教育係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○学習教材・情報教育機器等の整備（※教材備品等）		【所見】 ： 学校と連携を密にしながら要望内容を精査して予算の範囲内で教育機器整備を進めている。今後も、教育環境の状況に合わせて、教育機器の導入、更新を実施していく必要がある。
【事業】 79 学校教育支援員設置事業	【所管】 教育委員会 教育課 学 校教育係	【評価結果】 ： A. 達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○学校教育支援員（各小学校1名）の設置によるチームティーチング指導と少人数指導 ○軽度な発達障害を抱える児童・生徒の学習支援		【所見】 ： 学級担任と学校教育支援員による小人数授業やIT指導により個に応じたきめ細かな指導を継続していく必要がある。また、軽度の発達障害を抱える児童が増えているため、学校教育支援員を活用した通常学級における特別な教育的指導や支援の継続が求められている。
【事業】 80 小学校感性情操教育推進事業	【所管】 教育委員会 教育課 学 校教育係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○小学校における芸術文化体験事業の実施		【所見】 ： 3校合同の音楽鑑賞教室を行うなど効率的な事業執行を行っている。児童の感性・情操を豊かにするためには長い時間をかけて育成しなければならないことから、今後も事業を継続していく必要がある。

【事業】 81 小学校図書整備事業	【所管】 教育委員会 教育課 学 校教育係	【評価結果】 ： A. 達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○学校図書の購入・整備		【所見】 ： 児童の豊かな心を育み、読解力を養うためには数多くの読書が必要であり、そのために子供達に関心を持つ図書を準備することが必要である。今後とも文部科学省の分類基準に基づいた偏りのない図書整備を継続する必要がある。
【事業】 83 中学校教育機器等整備事業	【所管】 教育委員会 教育課 学 校教育係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○学習教材・情報教育機器等の整備（※教材備品等）		【所見】 ： 学校との連携を密にしながら要望内容の精査をして予算の範囲内で教育機器整備を行っている。今後も、教育環境の状況に合わせて、教育機器の導入、更新を実施していく。
【事業】 84 中学校図書整備事業	【所管】 教育委員会 教育課 学 校教育係	【評価結果】 ： A. 達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○学校図書の購入・整備		【所見】 ： 生徒の豊かな心を育み、読解力を養うためには数多くの読書が必要であり、そのために生徒に関心を持つ図書を整備することが必要である。今後とも文部科学省の分類基準に基づいた偏りのない図書整備を継続する必要がある。
【事業】 85 中学校通学バス支援事業	【所管】 教育委員会 教育課 学 校教育係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○三川中学校冬季通学バス運行委員会が運行する通学バスの運行費用に対する助成		【所見】 ： 保護者で組織する冬季通学バス運行委員会の通学バスは、自転車通学生徒の冬季間の安全確保のためには効果的な事業である。貸切バスに関する法改正に伴い、運行経費が増加しているため、受益者負担の割合等を勘案しながら運行委員会に対する支援を継続していく必要がある。
【事業】 86 学力向上対策事業	【所管】 教育委員会 教育課 学 校教育係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○小中学生を対象とした町主催の学習会の開催 ○家庭学習充実のため、個の能力等に合わせたプリント学習の推進		【所見】 ： 希望者に対し学習会を開催し、個々の学習意欲向上に一定の成果があった。今後も学校全体の学力向上につながるよう内容や対象者を検討しながら事業を継続していく必要がある。
【事業】 88 中学校感性情操教育推進事業	【所管】 教育委員会 教育課 学 校教育係	【評価結果】 ： A. 達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○中学校における芸術文化体験事業の実施		【所見】 ： 生徒の感性・情操を豊かにするためには長い時間をかけなければならないことから、今後も事業を継続していく必要がある。

【事業】 91 幼稚園感性情操教育推進事業	【所管】 教育委員会 教育課 学校教育係	【評価結果】： A. 達成できている
【取組】 ○幼稚園における芸術文化体験事業の実施		【今後の方向性】： 2. 現状維持 【所見】： 感性・情操を豊かにするためには、長い時間をかけて育成する必要があり、学校教育へと継続することで効果が期待できるものであるため、引き続き事業を行うことが必要である。
【事業】 94 教育施設整備基金造成事業	【所管】 教育委員会 教育課 学校教育係	【評価結果】： A. 達成できている
【取組】 ○計画的な基金造成による大規模改修事業の財源確保		【今後の方向性】： 2. 現状維持 【所見】： 町の財政負担を軽減しながら教育施設整備事業を円滑に推進するため、基金造成を行っている。 今後の教育施設整備計画の状況に合わせ基金の造成を行っていく必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】：
【取組】		【今後の方向性】：
【取組】		【所見】：
【事業】	【所管】	【評価結果】：
【取組】		【今後の方向性】：
【取組】		【所見】：
【事業】	【所管】	【評価結果】：
【取組】		【今後の方向性】：
【取組】		【所見】：

平成29年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	12 たくましく、確かな知識と個性豊かな魅力ある人材の育成	
施策	02 地域との連携による教育力の向上	
内容	【現状】 出生率の低下に伴い乳幼児は年々減少しており、同級生となる子どもがいないなど地域における環境は変化している。また、人口の増減に比して世帯数は増えており、放課後の子ども達を取り巻く状況は、地域の大人と子どもとの繋がりが低下しており、それに伴う子どもの社会力や地域力が低下している現状にある。	
	【課題】 共働きや核家族化など、集落内だけでは、解決できない問題があることから、コンパクトな行政規模であることを活かした事業展開が必要である。 公民館事業のうち、子育て支援センターと似たような事業にならないよう、相互の連携が必要である。 また、学童保育については、利用児童数の増加に伴うハード面の整備も課題となっている。	
【外部評価結果】	【所見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている
70 放課後子ども教室推進事業	教育委員会 教育課 社会教育係	【今後の方向性】 : 3. 一層の拡充が必要
【取組】		【所見】 : 地域の教育力の活用及び活性化を図るとともに、体験活動や異年齢交流を通し、子ども達の生きる力を育成する事業として実施している。 町内会居場所づくりについては、平成28年度に押切音読会が解散したことにより活動回数が大幅な減少となっているため、新たな活動団体等の育成が課題である。
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている
72 学童保育支援事業	健康福祉課 保育関係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持
【取組】		【所見】 : 子どもが小学校に入学しても、保護者が安心して就労等を行うために必要不可欠な場・組織であり、今後も子育てと仕事の両立を支援していく必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :

平成29年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	13 健康で安心して暮らせる地域社会の構築	
施策	02 健康づくりの推進	
内容	【現状】 町民の健康の保持増進を図るための生活習慣病対策や心の健康づくり等への取り組みを行っている。また、各種検診の受診率向上や、健康教室等の参加者増に向けて、住民の理解を得ながら、今後とも各種機関・団体等と連携しながら健康づくりに取り組む必要がある。	
	【課題】 国の方針で、平成21年より特定年齢に対する検診費用の無料化が進められていることから、一層の受診率向上に努めなければならない。また、各種教室（健康教育）や健康相談においては、内容の工夫とともに、住民がより参加しやすい方法を模索していく必要がある。	
【外部評価結果】	【所見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所管】	【評価結果】 ：
70 健康増進事業	健康福祉課 健康係	B. 概ね達成できている
【取組】		【今後の方向性】 ：2. 現状維持
○がん検診受診のための取組の導入(休日がん検診、節目対象者の無料化など)、精検未受診者対策の強化 ○人間ドック等健診後の健康相談の充実と医療費分析や事業効果に基づく生活習慣病予防と悪化防止のための教室の実施 ○みかわマイチャレ事業の拡充(対象メニューの拡充、協		【所見】 ： 定期的な体組成測定の利用者の増加や、運動による健康づくり活動への関心の高まりが見られる。反面、がん検診等の受診者数は徐々に減少傾向にあり、人口減少や医療機関管理者増加等の実態も踏まえて見ていく必要がある。また、要精検者に対する受診勧奨支援は継続して実施していく。
【事業】	【所管】	【評価結果】 ：
		【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ：
		【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：

平成29年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	13 健康で安心して暮らせる地域社会の構築	
施策	03 高齢者福祉の充実	
内容	【現状】 高齢化率の増加とともに、一人暮らし高齢者や高齢者世帯も増加する中、高齢者が自らの健康の保持増進に積極的に取り組み、自立した生活を送れるような生きがいつくりに取り組んでいる。	
	【課題】 高齢者が孤立することなく、住み慣れた地域の中で生きがいをもって安心して暮らすことができるよう地域・関係機関団体・行政が連携しながら事業推進していく必要がある。寿賀のつどいへの参加は目標の4割を維持できている一方で、年々老人クラブへの加入率が低下していることが懸念される。	
【外部評価結果】	【所見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : A. 達成できている
70 在宅介護支援事業（老人福祉費）	健康福祉課 介護支援係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持
【取組】		【所見】 :
○介護人手当の支給		居宅において寝たきり者等を介護している方に対する経済的・精神的負担軽減策として、事業目標は達成できている。
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている
71 社会福祉法人等支援事業（老人福祉費）	健康福祉課 福祉係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持
【取組】		【所見】 :
○社会福祉法人の施設整備に対する支援		常時介護の必要な認知症等の高齢者は、今後も増加することが見込まれることから、老人福祉の向上を図るべく、特別養護老人ホームの安定した運営のため継続した支援が必要である。
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている
72 寿賀敬老事業	健康福祉課 福祉係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持
【取組】		【所見】 :
○寿賀のつどいの開催 ○最高齢者、歳祝該当者、金婚者への賀詞等の贈呈 ○長寿祝金等の贈呈		寿賀敬老事業は、長年にわたり地域社会の発展に貢献された高齢者の労をねぎらうとともに、長寿を祝う事業であり、特に寿賀のつどいについては、出席を楽しみにしている高齢者も多いことから開催時期を検討しつつ、今後も継続して開催する必要がある。

【事業】 73 高齢者地域活動支援事業	【所管】 健康福祉課 福祉係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：4. 一部改善策が必要
【取組】 ○ふれあい運動会の開催 ○老人クラブ活動の支援		【所見】 ： 老人クラブ連合会及び単位老人クラブの活動は、高齢者相互の交流や生きがいづくり、健康体力づくり等に寄与しているため、継続した支援が必要であるが、老人クラブ連合会加入のクラブ数の減少に伴い、長年懸案であったふれあい運動会のあり方を検討し、町民体育祭への参加を模索することとした。
【事業】 74 高齢者就業機会確保事業	【所管】 健康福祉課 福祉係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○シルバー人材センターへの指導、運営に対する補助金の交付		【所見】 ： 高齢者の経験や技術を活かし、社会とのつながりを持つことにより、生きがいややりがいを感じる機会の創出に有効なため、高齢者の就業機会を確保する機関の安定運営のため、今後とも継続した支援が必要である。
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：

平成29年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	13 健康で安心して暮らせる地域社会の構築		
施策	05 障害者福祉の充実		
内容	【現状】 現代社会において、ノーマライゼーションの理念は浸透しつつあるものの、道路、建物等における物理的障壁のみならず、資格制限等制度や意識面での障壁など、さまざまな障壁があるのが現実である。 障害者総合支援法による障害福祉サービス及び町独自の障害者施策によるサービスの提供を行っているところである。		
	【課題】 ノーマライゼーションの理念を浸透するべく、日ごろからの啓発活動に努め、制度の周知や相談支援の充実に努める必要がある。 障害者あるいは、その家族が抱える課題をもとに適切な障害者福祉サービスの提供が求められる。		
【外部評価結果】	【所見】		
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要			
【事業】	【所管】	【評価結果】 : A. 達成できている	
70 在宅介護支援事業（障害者福祉費）	健康福祉課 福祉係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持	
【取組】	【所見】 :		
○介護人手当ての支給 ○障害者に対するおむつの支給 ○在宅酸素療法者に対する電気料金の一部助成	事業対象者は、恒常的に介護が必要な障害者又はその家族である。対象者の精神的・経済的な負担を軽減するためにも、今後とも継続した支援が必要である。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている	
71 身体障害者等社会参加・通院支援事業	健康福祉課 福祉係	【今後の方向性】 : 4. 一部改善策が必要	
【取組】	【所見】 :		
○障害者支援施設等通所交通費助成 ○重度身体障害者自動車用燃料費助成 ○心身障害者福祉タクシー利用扶助 ○人工透析患者通院交通費助成 ○障害児自動車用燃料費助成	在宅で生活する障害者（児）を経済的に支援等することで、自立と社会参加の促進が図られているが、18歳以上の障害者を家族送迎する場合の燃料費の助成に対する要望を受け、今後実施に向け、内容を検討する必要がある。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている	
72 社会福祉法人等支援事業（障害者福祉費）	健康福祉課 福祉係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持	
【取組】	【所見】 :		
○福祉団体の活動に対する支援	障害者相互の交流、社会参加の促進を目的に支援しているものの、会員の減少と役員の担い手不足が課題であり、支援継続と併せ、団体を所管する社会福祉協議会と連携して団体活動の活性化を促していく必要がある。		

平成29年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	13 健康で安心して暮らせる地域社会の構築	
施策	06 援助を必要とする個人や家族の自立支援	
内容	<p>【現状】 高齢化率の増加とともに、一人暮らし高齢者や高齢者世帯が増加する中、高齢者が健康で自立した生活を送れるようサービス提供を行っている。</p> <p>【課題】 高齢者が住みなれた地域で健康で安心した生活を送るためには、家庭・地域・関係機関団体及び行政が連携して行う必要がある。 地域包括支援センターや民生委員等との連携により対象者の把握に努めながら、高齢者に対する細やかな生活支援を推進していく必要がある。</p>	
【外部評価結果】	【所見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている
70 社会福祉法人等支援事業 (社会福祉総務費)	健康福祉課 福祉係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持
【取組】		【所見】 :
○福祉団体等の活動に対する支援		団体の設立目的に沿った活動がなされていると思われる。 なお、地域福祉の推進に不可欠な団体の安定運営のため、今後も支援を継続する必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている
71 生活支援事業	健康福祉課 福祉係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持
【取組】		【所見】 :
○寝具洗濯乾燥等に係る費用の助成 ○緊急通報システム事業への助成 ○訪問理美容に係る費用の助成		今後も支援の継続と併せて、町広報の活用、民生児童委員による周知等により利用促進を図っていく必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :

平成29年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	14 一人ひとりの思いが実を結ぶ地域社会の実現	
施策	01 自主活動につながる社会教育の推進	
内容	<p>【現状】 生涯学習活動を通じて、それぞれの年代毎に事業を実施し、自主活動に結び付けることを目的としている。団体活動等については、行政側が事務局を担わざるを得ない状況である。</p> <p>【課題】 事業の詳細については毎年少しずつ変化をつけているものの、マンネリ化と言われている。社会教育にとって継続しなければならない事業もあるが、事業展開をする上では、スクラップアンドビルドを意識しながら、今後検討しなければならない。</p>	
【外部評価結果】	【所見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている
70 公民館図書整備事業	教育委員会 教育課 社会教育係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持
【取組】		【所見】 :
○公民館図書の整備 ○図書だより「ぼかぼか」の発行 ○県立図書館との連携		地域住民のニーズに対応した図書の購入や、幼児対象事業終了後に図書室で読み聞かせを行う等、施設の有効活用に努めている。今後も図書だよりの発行を通じて情報を発信し、貸出増加に繋げていきたい。
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている
71 社会教育団体等活動推進事業	教育委員会 教育課 社会教育係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持
【取組】		【所見】 :
○各種団体等の支援 ・芸術文化協会 ・PTA連合会 ・公民館主事協議会 ・子ども会育成会連絡協議会 ・中高生ボランティアサークル来夢来人 ・青友 ○全国大会等出場者への支援		各団体で、内容の充実した活動を展開しているが、会員不足や活動のマンネリ化がみられるため、今後とも活動支援していく必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 : A. 達成できている
72 成人式開催事業	教育委員会 教育課 社会教育係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持
【取組】		【所見】 :
○成人式式典の主催 ○成人のつどいの開催支援		実行委員を中心に企画・運営し、円滑に遂行されている。青年団体の取り組みをチラシで成人者に紹介している。今後も継続して成人者に町の取り組みを紹介する場としたい。

【事業】 73 生涯学習活動実践事業	【所管】 教育委員会 教育課 社 会教育係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○町民講座の開催 ○家庭教育連携事業の主催及び共催 ○ブックスタート事業の開催 ○菜の花大学（高齢者教育）の開催		【所見】 ： 町民講座について、町民等から興味を持って参加してもらうため内容の工夫等を行い、計画より大幅に多い参加をいただいている。今後も自主活動を支援し、生涯にわたって学習する機会の充実を図っていく必要がある。
【事業】 74 青少年自然体験事業	【所管】 教育委員会 教育課 社 会教育係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○フェスティバルざっこしめの開催		【所見】 ： 夏のイベントとして定着しており、親子での参加も多く好評である。社会教育関係団体からの協力が必要であるため、今後も継続して連携を図って行きたい。
【事業】 75 町内会公民館等整備事業	【所管】 教育委員会 教育課 社 会教育係	【評価結果】 ： A. 達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○新築、増改築工事に要する経費の一部支援		【所見】 ： 町内会長会議や公民館振興委員会議で事業内容を紹介し、今後も継続して支援を行っていく必要がある。
【事業】 77 地域交流・子育て支援施設整備事業	【所管】 健康福祉課 子育て支援 施設整備係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○子育て交流施設の建設		【所見】 ： 計画どおり実施設計の作成を終えた。今後は各種手続き等を速やかに行い、早期開設を目指す必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：

平成29年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	14 一人ひとりの思いが実を結ぶ地域社会の実現		
施策	02 スポーツ・レクリエーションの振興		
内容	<p>【現状】 関係団体を育成支援し、スポーツを楽しむ環境を作り、町民及び会員等の体力・運動能力の維持向上を図ることを目的に取り組んでいるが、スポーツと健康との関わりで、ウォーキングなど軽スポーツを楽しむ人が増えているものの、それが町等が企画する事業の参加に必ずしも繋がっていない現状がある。</p> <p>【課題】 体育協会については、構成団体の活動の停滞化が進んでいること、スポーツ少年団については、少子化や競技種目参加の片寄りがみられること、スポーツクラブについては、今後も安定的に会員を増やすための施策が必要となっていることやtoto助成期間が平成27年度に満了することから、今後の方向性とクラブの財源確保が必要である。</p>		
【外部評価結果】	【所見】		
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要			
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている	
70 社会体育団体等活動推進事業	教育委員会 教育課 社会教育係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持	
【取組】	【所見】 :		
各種団体等の支援 ○体育協会 ○スポーツ少年団 ○みかわスポーツクラブ	社会体育関係団体等が連携を図り、スポーツ総合開会式、町民体育祭を実施した。今後も団体等の活動を支援する必要がある。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている	
71 生涯スポーツ推進事業	教育委員会 教育課 社会教育係	【今後の方向性】 : 4. 一部改善策が必要	
【取組】	【所見】 :		
○町民運動会、町民体育祭の開催 ○指導者等の大会参加助成	社会教育団体指導者等大会参加助成金については、スポーツ三川等を通して広く紹介している。町民体育祭は社会体育関係団体が連携して実施し、スポーツ振興を図っている。一方で町内会からの参加が少ないため、募集方法等を検討する必要がある。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている	
72 社会体育施設整備事業	教育委員会 教育課 社会教育係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持	
【取組】	【所見】 :		
○町民体育館、町民運動場、アスレなの花、豊秋テニスコートの維持管理	アスレなの花トレーニング器具の購入ではランニングマシンを3台更新した。今後も町民等が安全にかつ快適に使用できるよう点検するとともに、計画的に更新や修繕を行う必要がある。		

平成29年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	14 一人ひとりの思いが実を結ぶ地域社会の実現	
施策	03 芸術文化の育成・継承・活用	
内容	【現状】 文化財保護については、あまり変化が見られない。芸術文化祭については、地域文化の発展に資することを目的に「みかわ秋まつり」を毎年盛大に開催している。	
	【課題】 毎年、みかわ秋まつりに出展される方々が高齢化し、新規の出品者もあまり増加しないことから、出展数が減少している傾向にある。 住民の芸術文化活動を通じた自主活動を進めていくには、新たな協力者など、将来的にも継続できるような形を模索していかなければならない。	
【外部評価結果】 1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要	【所見】	
【事業】 70 文化財保護保存事業	【所管】 教育委員会 教育課 社 会教育係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○文化財保護審議会の開催 ○文化財等の保護・保存		【所見】 ： 文化財保護については、地区毎に巡回点検を実施し、保存状況の確認等を行い、保全に努めている。
【事業】 71 芸術文化祭事業	【所管】 教育委員会 教育課 社 会教育係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○みかわ秋まつり ○町民音楽会		【所見】 ： 町民の学習・活動発表の場として定着しており、出品者、来場者からは高い評価を得ている。町民体育館の特別展は知名度のある方のイベント企画により非常に好評を得ることができた。今後も出品者、来場者の増加に向け工夫を図る必要がある。
【事業】 72 文化交流館事業	【所管】 教育委員会 教育課 社 会教育係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○野草を観る会 ○みかわ秋まつり（特別展） ○雛人形展 ○展示室への展示 ○アトクすまいるライブ ○アトク寺子屋教室		【所見】 ： 特色ある施設利用として実施している「アトクすまいるライブ」は参加者の要望に応え、日中開催として好評を得ている。今後も魅力ある事業実施に努め、施設の利用拡大を図って行きたい。

平成29年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	15 豊かな自然環境の保全		
施策	01 資源循環型社会の構築		
内容	<p>【現状】 限られた資源を大切にする資源循環型社会の構築を図るためには、ごみの適正処理や減量化、さらには、廃棄物の再資源化など、資源の有効活用が求められている。協働推進会議等でも、地球温暖化防止やごみ処理量の削減、ごみの適正分別については、住民の関心も高くその重要性について浸透しつつある。 しかし、全町民からの理解と協力を得るところまでは至っておらず、より具体的な削減方法の周知と効果的な啓発方法を調査検討していくことが必要である。</p> <p>【課題】 リサイクルの推進やごみの減量化に取り組む住民も増えつつはあるものの、全町民からの理解と協力を得るところまでには至っておらず、取り組みの継続と効果的な啓発方法について検討する必要がある。また、一般廃棄物の処理については、ごみステーション数の増加が課題である。 その他県内で増加しているごみ処理の有料化についても鶴岡市とともに調査研究していく必要がある。</p>		
【外部評価結果】	【所見】		
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要			
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている	
70 ごみ減量化等促進対策事業	建設環境課 環境整備係	【今後の方向性】 : 4. 一部改善策が必要	
【取組】	【所見】 :		
○資源リサイクルステーションの管理 ○ノーレジ袋、マイバッグ持参運動の展開 ○町内会等における資源回収の支援 ○生ごみ減量実証試験の実施 ○住民参加型空き缶回収システムの普及	ごみ減量化等促進対策事業は、各世帯からの理解と協力がなければ達成できない事業である。 平成29年度に生ごみ実証試験事業を実施したが、アンケート結果を踏まえて、平成30年度も実施するものとする。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている	
71 廃棄物処理事業	建設環境課 環境整備係	【今後の方向性】 : 4. 一部改善策が必要	
【取組】	【所見】 :		
○ごみ収集運搬業務の委託 ○廃棄物処理業務の委託 ○ごみ収集車の維持管理 ○適正分別や水洗い等の啓発活動 ○BDFの利活用	ごみ収集量は、その年度により微減や微増を繰り返している。ごみ排出量の削減が進んでいない理由として、水分を多く含む生ごみが入っている、家庭系ごみに事業系ごみが混入している、資源ごみをごみステーションに出す等が考えられる。引き続き家庭系ごみを減量するための取り組みを推進する必要がある。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 :	
		【今後の方向性】 :	
【取組】	【所見】 :		

平成29年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	15 豊かな自然環境の保全	
施策	02 親しまれ愛される自然環境の保全	
内容	【現状】 森林は、洪水・渇水の緩和、土砂流出や地球温暖化の防止など様々な働きを持ち、私たちに多くの恵みをもたらしている。しかし、木材価格の低迷や農山村地域の過疎化、化石燃料に依存した生活様式の変化などから、林業離れや人と森との関わりの希薄化が進み、手入れの行き届かない森林が増加し、森林全体の公益的機能を維持・保全することが困難になっている。	
	【課題】 森・川・海をつなぐ水環境や森林等の自然環境を維持していくためにも、森林の公益的機能を回復・保全する取り組みを引き続き継続する必要がある。	
【外部評価結果】	【所見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている
70 みどり環境推進事業	産業振興課 農政係	【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】		【所見】 ：
○やまがた緑環境税を原資とし、森林保全の重要性を周知する活動や森林機能の回復や郷土保全を図る活動の実施 ○県産材（森林資源）を利活用した事業の実施と広く町民を対象にした環境や森林に対する学習機会の提供		森林の公益的機能を保全することは、平地である当町へも大きな利益をもたらすことから、地域住民を対象とした環境や森林に対する意識の高揚や啓発活動を続けていく必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 ：
		【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ：
		【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：

平成29年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	15 豊かな自然環境の保全	
施策	03 限られた資源の有効利用	
内容	【現状】 地球温暖化防止対策の推進は、全世界的な課題であり、各地域での取組みの重要性が増している。さらに東日本大震災以降の電力不足に対する節電のためにも本事業の重要性が増してきている。その根本となる温室効果ガスの排出抑制等について、グリーンカーテンを設置することにより、電気使用量抑制の実践活動と、来庁者への啓発活動、循環型社会の構築など、地球温暖化防止に対する抑制と啓発につながる。	
	【課題】 地球温暖化防止の必要性について、さまざまな啓発活動を行いながら豊かな自然環境を保全する取組みについて、町民それぞれの立場の中で実践できるように継続的に情報提供を行う必要がある。	
【外部評価結果】	【所見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている
70 地球温暖化防止推進事業	建設環境課 環境整備係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持
【取組】		【所見】 :
○三川町地球温暖化対策地域協議会による啓発活動の支援 ○ゴーヤ栽培によるグリーンカーテン設置（公共施設、学校等） ○ゴミ減量化を含めた地球温暖化防止の出前講座やイベント開催時の啓発活動		地球温暖化対策地域協議会の活動の支援を充実しながら、ゴーヤ苗の無料配付の取組み、温室効果ガス削減の必要性等、広く町民に周知するものとする。 また、温室効果ガスの排出削減に向けて、町の対策を推進する必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :

平成29年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	16 魅力的な居住空間の創造	
施策	01 快適で利便性の高い居住環境の整備	
内容	【現状】 人口の減少が進むなか、定住人口の増加を目指して住宅建設費補助を行うことにより、町内建設業等の振興と定住人口の増加が図られている。	
	【課題】 平成23年度から実施している「山形県住宅リフォーム総合支援事業」との整合性を図る必要がある。さらに、安全・安心な生活空間確保を図るため、既存住宅の建替え、建設、新築・中古住宅の購入促進施策を一層推進していかなければならない。	
【外部評価結果】	【所見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている
71 住まいづくり支援事業	建設環境課 環境整備係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持
【取組】		【所見】 :
○町内定住を目的とした住宅建設工事、新築及び中古住宅の取得費に対する補助金の交付 ○住宅リフォーム工事費に対する補助金の交付 ○木造住宅耐震改修工事費に対する補助金の交付		住宅取得支援事業や住宅リフォーム支援事業は、概ね目標を達成している。木造住宅耐震改修事業については活用の促進を図る。
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている
72 移住定住促進事業	建設環境課 環境整備係	【今後の方向性】 : 3. 一層の拡充が必要
【取組】		【所見】 :
○町外から町内への定住を目的とした住宅建設、新築及び中古住宅の取得者に対する補助金の交付		補助金の交付件数は、増加傾向にある。定住促進並びに地域経済の活性化に寄与するため、特に県外からの移住者を増やすことについて、町全体で移住定住対策の改善策を図る必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :

平成29年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	16 魅力的な居住空間の創造	
施策	02 魅力ある公園や緑地の整備	
内 容	【現 状】 ○河川緑地内に水飲み場や清潔なトイレ等の施設がない。 ○舗装整備された通路や駐車場がない。 ○河川増水時に、安全に避難するための誘導看板等が不足している。	
	【課 題】 ○町民等来訪者が利用できる水飲み場や清潔なトイレ等が必要とされている。 ○安全で魅力的な公園とするため施設内通路の整備、案内・誘導看板、坂路の整備が必要となっている。 ○施設の適切な維持管理体制の確立が必要とされている。	
【外部評価結果】	【所 見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所 管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている
71 かわまちづくり整備事業	建設環境課 建設係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持
【取 組】		【所 見】 :
○赤川河川緑地ふれあい広場への多目的広場や運動施設、散策路等の公園施設の整備		赤川河川緑地ふれあい広場について、憩いや健康づくり、レクリエーションの場などに活用できる公園施設の整備を促進するとともに、地域の文化施設や商業施設等との連携を図りながら交流人口の拡大にもつなげていく必要がある。
【事業】	【所 管】	【評価結果】 :
		【今後の方向性】 :
【取 組】		【所 見】 :
【事業】	【所 管】	【評価結果】 :
		【今後の方向性】 :
【取 組】		【所 見】 :

平成29年度 施策評価調書

基本目標(政策)	17 安全で利便性の高い生活基盤の整備		
施策	01 交通網の充実		
内容	【現状】 本町のみならず庄内全域の発展に資する高速交通網の整備や高齢者等の交通弱者の生活交通手段の確保を図る必要がある。その中で、日沿道の整備については、新潟・秋田の両県境区間が都市計画段階評価の対象となり、大きく前進している。 町内を運行するデマンド型乗合タクシーは、登録者は増えているものの、利用者が減少傾向にある。		
	【課題】 日沿道をはじめとする高速交通網の早期着工については、引き続き関係自治体や地域の住民・企業等と連携して、一層の要望活動を展開する必要がある。 デマンド型交通システムについては、利用者数の拡大に向け、利用者ニーズに対応した事業展開を図らなければいけない。		
【外部評価結果】	【所見】		
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要			
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： C. あまり達成できていない	
70 高速交通網整備促進対策事業	企画調整課 企画調整係	【今後の方向性】 ：3. 一層の拡充が必要	
【取組】	【所見】 ：		
○日沿道、新庄酒田高規格道路、東北横断自動車道等の建設促進に向けた要望活動 ○庄内空港の利用拡大のための要望活動、及び広報活動 ○庄内地区羽越新幹線の実現及び建設促進に向けた要望活動 など	日沿道の早期全線開通に向けて、両県境区間等のさらなる事業進展が望まれる。また、庄内空港は、運行便数の拡大や発着時間帯の見直しを望む声が多いことから、機材の充実と併せて引き続き要望していく必要がある。 高速交通網の整備については、引き続き地域間の連携を図りながら粘り強く要望活動を行っていく。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている	
71 地域公共交通推進事業	企画調整課 企画調整係	【今後の方向性】 ：3. 一層の拡充が必要	
【取組】	【所見】 ：		
○デマンド型交通システム（デマンドタクシー）の運行拡充 ○生活交通手段の確保に向けた検討	デマンドタクシーの運行については、運行便数の増加や運行時間の変更など対応してきたが、さらなる利用拡大につながるよう、運行業者と調整しながら利用者の目線に立った拡充策を検討する必要がある。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている	
73 道路舗装事業	建設環境課 建設係	【今後の方向性】 ：3. 一層の拡充が必要	
【取組】	【所見】 ：		
○交通量が多く舗装路面の損傷が多い路線の計画的な舗装改修整備	舗装路面の亀裂・沈下等の経年劣化等が進行していることから、道路舗装等の長寿命化・コストの縮減・予算の平準化を図るため、舗装長寿命化修繕計画に基づいた計画的な修繕が必要である。		

【事業】 74 側溝整備事業	【所管】 建設環境課 建設係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：3. 一層の拡充が必要
【取組】 ○道路冠水が発生する路線等について計画的な道路側溝の整備		【所見】 ： 異常気象等により、ゲリラ豪雨が多発する傾向にあるため、浸水被害の多い箇所について道路の側溝整備を進めるとともに、狹隘道路における側溝整備により道路幅員を確保し、安全で安心できる道路環境の改善に努めていく必要がある。
【事業】 75 道路安全施設整備事業	【所管】 建設環境課 建設係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：3. 一層の拡充が必要
【取組】 ○整備必要路線の検討及び計画的な整備の実施		【所見】 ： 全国的に多発する通学路における重大事故を受け、国においても通学路における交通安全対策については、重点課題として実態調査を行っているところである。歩道や防護柵等の交通安全施設の整備については児童生徒の安全確保を図るため、積極的に取り組んでいく必要がある。
【事業】 76 橋梁長寿命化対策事業	【所管】 建設環境課 建設係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：3. 一層の拡充が必要
【取組】 ○橋梁長寿命化対策に係る点検、維持補修工事の計画的な実施		【所見】 ： 定期的な橋梁点検を通じて損傷状況の把握を行うとともに、老朽等橋梁について計画的な維持補修工事を実施することにより、安全かつ円滑な交通を確保していく必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：

平成29年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	17 安全で利便性の高い生活基盤の整備	
施策	03 住宅の安全性や安定したライフラインの確保	
内容	【現状】 近年頻繁に発生する異常気象等による自然災害から、住民の生命と財産の保全を図り、開発行為、宅地造成等による地形変化に対応した社会資本施設の整備が必要となっている。その中でも、冬期間の交通確保については、早急な整備が必要である。	
	【課題】 冬期間における季節風の影響により、通行不能となる路線があるため、防雪施設については、計画的な整備が必要となっている。 また、昭和60年代に整備された施設については、歩行者に配慮した施設への改良や部材の劣化等に伴う施設の長寿命化を検討する必要がある。	
【外部評価結果】	【所見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている
70 防雪対策事業	建設環境課 建設係	【今後の方向性】 : 3. 一層の拡充が必要
【取組】		【所見】 :
○計画的に防雪施設の整備		地吹雪が頻繁に発生する計画路線の早期整備を目指すとともに、整備後の維持管理コストも踏まえて取り組んでいく必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 : C. あまり達成できていない
71 空き家対策支援事業	建設環境課 環境整備係	【今後の方向性】 : 4. 一部改善策が必要
【取組】		【所見】 :
○解体撤去費用の捻出が困難な低所得世帯に対する解体撤去費用の一部補助		本事業について、補助金交付の実績がないことから、平成30年度において、制度改正を行う必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :

平成29年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	17 安全で利便性の高い生活基盤の整備	
施策	05 住宅の安全性や安定したライフラインの確保(下水特会)	
内容	【現状】 下水管路(汚水)整備は、既存住宅区域のほぼ全域で完了している。 なお、近年頻繁に発生する異常気象等による自然災害から、住民の生命と財産の保全を図るため、豪雨による浸水(雨水)被害の防止等を図るため、排水路・ポンプ場整備を早急に進める必要がある。	
	【課題】 下水管路(汚水)整備及び流域下水道整備については、宅地開発の動向を注視しつつ、計画的な実施が不可欠である。また、排水ポンプ施設の整備は、赤川の河道掘削や月山ダムの洪水調整機能等も考慮し、その整備手法について調査研究していく必要がある。	
【外部評価結果】	【所見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている
04 下水道事業	建設環境課 環境整備係	【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】		【所見】 ：
○浸水被害の発生する地域内における排水ポンプ施設等や支線排水路の整備 ○下水道未整備地域における汚水管の布設		平成29年度に管路のストックマネジメント(点検・調査)計画を策定した。平成30年度は、引き続きマンホールポンプの点検調査計画及び管渠の修繕改築計画を策定する必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 ：
		【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ：
		【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：

平成29年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	18 防犯・防災・交通安全対策の充実	
施策	01 防犯対策の強化	
内容	【現状】 近年の犯罪は、凶悪化、巧妙化、広域化しており、町民生活にとって大きな脅威となっている。さらに、本町には大型ショッピングセンターがあり、交流人口が多いことから、街頭犯罪の防止を図るため、事業所や防犯協会、家庭、学校、町内会などと連携して、規範意識の確立や防犯意識の醸成、防犯施設の整備などを通して、地域における防犯活動を強化している。	
	【課題】 防犯灯のLED化などによる消費電力及び維持管理経費の縮減について検討する必要がある。 また、本町には大型商業施設があり、交流人口が多いことから、引き続き各種防災関係機関・団体・企業等と連携を図りながら、犯罪抑止に努めていく必要がある。	
【外部評価結果】	【所見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所管】	【評価結果】 ：
70 安全で明るい町づくり推進整備事業	総務課 危機管理係	B. 概ね達成できている
【取組】		【今後の方向性】 ：
○住民による防犯活動の実施 ○防犯設備等の整備 ○防犯灯のLED化の促進 ○各種啓発活動の実施		3. 一層の拡充が必要
		【所見】 ：
		町内会や防犯協会等関係団体の協力のもと、防犯のぼり旗の設置や小学生等の下校時見守り活動、防犯灯のLED化、さらに事業者との連携による啓発活動など一定の効果が上がっていると考えているが、地域における防犯力のさらなる強化を目指し、引き続きその取り組みの充実を図っていく必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 ：
【取組】		【今後の方向性】 ：
		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ：
【取組】		【今後の方向性】 ：
		【所見】 ：

平成29年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	18 防犯・防災・交通安全対策の充実	
施策	02 災害対応力の強化	
内容	【現状】 東日本大震災を契機に、地震や津波に対する災害に対する住民の意識が高まるなか、地域防災計画を見直し、津波・洪水ハザードマップを作成するなど、防災意識の高揚に努めている。	
	【課題】 津波対策や風水害対策を考慮した地域防災計画の見直しを早急を実施する必要がある。また、地域防災計画等に基づき、地域防災力の向上を図る必要がある。	
【外部評価結果】	【所見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： A. 達成できている
70 常備消防事務委託事業	総務課 危機管理係	【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】		【所見】 ：
○鶴岡市との協議に基づく消防・救急等の常備消防業務(事務)の委託		常備消防・救急業務は町民の生命・財産を守るために不可欠であり、この業務委託は継続すべきである。
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： A. 達成できている
71 消防ポンプ整備事業	総務課 危機管理係	【今後の方向性】 ：4. 一部改善策が必要
【取組】		【所見】 ：
○計画的な消防ポンプ等の整備		消防ポンプ整備計画に基づき年次的に整備を行っているが、現計画の見直しを行い、機器の更新時期の延長を行うこととしている。
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている
72 自主防災組織育成助成事業	総務課 危機管理係	【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】		【所見】 ：
○転入者に対する非常用持出袋の配布 ○災害訓練実践町内会助成金の交付		全町内会に組織されている自主防災組織のほとんどが定期的に訓練を実施しており、この取り組みが継続されるよう支援していく必要がある。また、訓練内容の充実に向けた支援も継続していく必要がある。

【事業】 73 地域防災事業	【所管】 総務課 危機管理係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：4. 一部改善策が必要
【取組】 ○災害時初動体制の整備 ○防災関係機関の協力体制の確立 ○災害発生に備えた備蓄品の整備 ○三川町地域防災計画並びに三川町水防計画等の改定		【所見】 ： 引き続き地域における防災意識の高揚を図りながら、地域防災計画に基づく防災力の強化に努めていく必要がある。
【事業】 80 公共施設等長寿命化対策事業	【所管】 総務課 総務係	【評価結果】 ： A. 達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○経済性、省エネ性、低メンテナンス性を重視した施設長寿命化改修計画の策定と実施		【所見】 ： 優先順位の高いエレベーター改修工事等を実施した。引き続き計画的に庁舎の災害対策及び長寿命化対策を実施することとする。
【事業】 81 公共施設等長寿命化対策事業	【所管】 教育委員会 教育課 学校教育係	【評価結果】 ： A. 達成できている 【今後の方向性】 ：3. 一層の拡充が必要
【取組】 ○基金造成による財源確保。 ○年次計画的な各施設の大規模改修工事の実施。 押切小：平成29～30年度（予定）		【所見】 ： 築後30年以上経過した押切小学校について、長寿命化に向け大規模改修を行う必要がある。
【事業】 85 公共施設等長寿命化対策事業	【所管】 健康福祉課 保育園係	【評価結果】 ： A. 達成できている 【今後の方向性】 ：1. 事業完了による終了
【取組】 ○経年により劣化している屋根や外壁を中心にした大規模な改修工事の実施		【所見】 ： 開園しながらの工事であったが、園職員との調整を密に行って計画通り完成し、施設の長寿命化が図られた。
【事業】 86 公共施設等長寿命化対策事業	【所管】 教育委員会 教育課 学校教育係	【評価結果】 ： A. 達成できている 【今後の方向性】 ：1. 事業完了による終了
【取組】 ○経年により劣化している屋根や外壁を中心にした大規模な改修工事の実施		【所見】 ： 開園しながらの工事であったが、園職員との調整を密に行って計画通り完成し、施設の長寿命化が図られた。
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：

平成29年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	19 発展性の高い土地利用の推進	
施策	01 地域特性に応じた土地利用の推進	
内容	【現状】 適正で秩序ある土地利用の推進を基本としながら、地理的条件の優位性や道路網等の社会基盤の整備を進めることにより、民間による商業集積や工業団地、産業団地の開発が進められてきた。 今後も土地利用の需要を把握しながら、適正な土地利用の推進を図る必要がある。	
	【課題】 雇用の場の確保として、開発を進めてきた「みかわ産業団地」については、計画区域内最後の区画の分譲手続きを進めており、今後、新たな工業団地、産業団地の開発のためには、農用地との土地利用調整も含めた新たな計画策定が求められている。 また、定住促進策として新たな住宅団地の開発を進めることとしており、具体的な開発手法について検討していく必要がある。	
【外部評価結果】	【所見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている
70 地域開発推進事業	企画調整課 企画調整係	【今後の方向性】 ：3. 一層の拡充が必要
【取組】		【所見】 ：
○地域開発を促進する社会資本整備に関する要望活動 ○民間開発の誘導と土地利用調整 ○企業誘致活動及び県企業誘致促進協議会への参加と情報の収集・提供		みかわ産業団地（第3期）の造成に向けて、準備を進めており、引き続き、土地開発公社と連携しながら企業誘致を進めていく。 新たな住宅団地開発に係る課題や問題点を整理し、具体的な開発に向けた手法を検討していく。
【事業】	【所管】	【評価結果】 ：
		【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ：
		【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：

平成29年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	21 活力ある産業の育成	
施策	01 活力ある農業生産活動の育成と支援	
内容	【現状】 米を主要農産物としている本町の農業は、米価の低迷等厳しい現状におかれており、農業者にとっては相対的な生産費が増加し、かつ国の大幅な政策変更もあって、今後の経営計画における将来ビジョンを描きにくい状況におかれている。 そういった中で、農業の生産性向上のため、各種事業を有効に活用しながら、農業経営に要する費用負担軽減を支援し、総合的な農業生産基盤を整備し、農業経営の安定に取り組んでいる状況である。	
	【課題】 認定農業者をはじめ、農業経営者の高齢化、担い手不足などにより、農地の保全や多面的機能の発揮が求められている。 農作物は気象条件と市場性に左右されるものであり、収入の基幹をなす米価も年々低下するなど厳しい経営環境にある。 今後は集落における農地集積や担い手確保のための方向性を協議し、継続可能な農業・農村の経営方針を明らかにしていく必要がある。	
【外部評価結果】	【所見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : A. 達成できている
71 経営体育成支援事業	産業振興課 農政係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持
【取組】	【所見】 :	
○経営規模の拡大や経営の多角化に必要な機械・設備等整備への支援（事業費×1/3）	人・農地プランに位置づけられた中心経営体等の農業経営の発展・改善のための支援事業として今後も有効な事業活用を図っていく必要がある。	
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている
72 流通対策事業	産業振興課 農政係	【今後の方向性】 : 4. 一部改善策が必要
【取組】	【所見】 :	
○山形県青果物価格安定対策事業による野菜等価格低落に対する支援（品目：ねぎ、ストック、枝豆） ○山形県青果物価格安定対策事業の対象外の野菜等で、町で指定する野菜等価格低落に対する支援（品目：オクラ、インゲン、アスパラガス、椎茸、平茸、トルコキキョウ、シンビジウム）	野菜等の価格低迷に対して、生産農家の経営安定と町内の野菜等生産振興を図る当事業（制度）は、継続すべきものと考えながら、町特定野菜に係る支援は、町内において今後も産地形成が促進されるように品目を絞り込んでいく必要がある。	
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている
73 がんばる農家支援事業	産業振興課 農政係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持
【取組】	【所見】 :	
○意欲ある農業者の創意工夫や新たな取り組みを生かす支援の実施	農業者のやる気を喚起したり、創意工夫による新たな取り組みのきっかけ作りを支援するためにも、当事業は必要であり、今後も継続して実施する必要がある。	

【事業】 74 食のまちづくり推進事業	【所管】 産業振興課 農政係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○食のまちづくりに関する推進協議会の設置と広報・啓発活動 ○三川産の農産物や米粉、菜の花を使った商品を町イベント等でPR ○学校給食での「米粉」、「三川産の野菜」及び「つや姫」の利用に対する支援		【所見】 ： 子供たちの食育と地域農業に対する理解の促進、地産地消の推進を図るため、今後も継続して取り組む必要がある。
【事業】 75 瑞穂の郷づくり事業	【所管】 産業振興課 農政係	【評価結果】 ： A. 達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○町の特色である大規模水田経営と有機等の米づくりのさらなる推進 ○米づくりに専心する「瑞穂の郷」づくりの推進		【所見】 ： 担い手への農地集積を推進し、大規模水田経営、生産コスト縮減、有機・特裁比率向上を図り、稲作の先進地域を目指すために引き続き事業を推進していく必要がある。
【事業】 77 国営造成施設管理体制整備促進事業	【所管】 産業振興課 農政係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○土地改良施設の適正な維持・管理に対する支援（実施主体：庄内赤川土地改良区） ○土地改良施設に対する住民理解を深める啓発活動等に関する支援（実施主体：赤川地区土地改良施設管理体制整備推進協議会）		【所見】 ： 土地改良施設の効果は広く地域住民に及ぶことから、その機能は維持強化していく必要がある。
【事業】 78 特産キラリ生産拡大支援事業	【所管】 産業振興課 農政係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○菜種（キラリボシ）栽培に対する栽培経費支援		【所見】 ： 菜種作付面積は順調に増加しており、事業効果が現れているといえる。また、生産者自体が増えることにより取組者同士の相互連携や意欲向上にもつながり、所得向上に向けて今後も支援を継続していく必要がある。
【事業】 79 経営改善支援活動事業	【所管】 農業委員会 農業委員会 総務係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○農業経営基盤強化資金利子に対する助成 ○認定農業者への支援		【所見】 ： 農業経営の一助である農業経営基盤強化資金については、認定農業者が対象となっているものであり、その利子に対する助成は金銭的支援として大きく役立つものである。
【事業】 80 はっぴー米メモリアル事業	【所管】 産業振興課 農政係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○町の特産品である米のPR ○町の一員となってくれた方に町の歓迎の意を表すことを目的にした出生・婚姻・転入等記念日における三川産米の贈呈		【所見】 ： 三川町産米のPRと消費拡大、並びに町民の人口増のための政策は意義のあるものであり、今後も事業を推進していく必要がある。

【事業】 82 土地改良施設等整備事業	【所管】 産業振興課 農政係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○排水対策として「二丁排水路」「二丁堀排水路」に排水ポンプの新設 ○沖堰排水機場並びに青龍川に係る分土工の施設の維持・保全のための大規模改修		【所見】 ： 豪雨等による冠水等の被害を防止するため、排水施設機能強化および長寿命化を図っていく必要がある。
【事業】 83 リーディングファーマーズ銀行事業	【所管】 産業振興課 農政係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○融資制度（①～④）利用者への利子助成補助金の交付（償還開始から3カ年） ①農業経営基盤強化資金 ②経営体育成強化資金 ③農業近代化資金 ④新農業振興資金 ○利子助成限度額（3カ年の合計） 個人150万円、法人500万円		【所見】 ： 農業経営の規模拡大や効率化を推進するうえで、農業者の経営判断並びに金融機関の審査を経て農業設備等を整備する農業者への導入・更新に対する支援を図っていく必要がある。
【事業】 84 多面的機能支払交付金事業	【所管】 産業振興課 農政係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○農地が有する多面的機能を発揮するための保全・管理活動に対する支援		【所見】 ： 地域の農地や農業用水路等の保管理など農村環境を守るため、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮に向け、今後も継続して推進していく必要がある。
【事業】 85 環境保全型農業直接支払交付金事業	【所管】 産業振興課 農政係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○有機栽培及び夏期湛水等国が示す条件に沿った特別栽培の取り組みに対する支援 ○取組みに応じた単価による交付金 （国：50%、県：25%、町：25%）		【所見】 ： 環境の維持・保全への関心が高まる中、農業分野においても地球温暖化防止や生物多様性保全に積極的に貢献していくことが重要となっており、継続した支援の必要がある。
【事業】 86 三川町農産所得拡大支援事業	【所管】 産業振興課 農政係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○農産所得向上のために、施設園芸等に取り組む者に対してへの支援 （園芸ハウス整備、機械設備導入等）		【所見】 ： 農業者の生産性の向上を支援することで、生産量や面積の拡大に繋がり、農業所得拡大を図ることができると考え、今後も継続して実施していく必要がある。
【事業】 89 産地パワーアップ事業	【所管】 産業振興課 農政係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○集出荷コスト低減のための施設整備等に対する支援（施設整備事業 事業費×1/2） ○生産コスト低減に向けた農業機械等リース導入に対する支援（生産支援事業 事業費×1/2）		【所見】 ： 産地パワーアップ計画が産地としての意識付けの機能を果たしていることに加え、生産コスト低減による所得向上といった明確な目標設定の顕在化が行われており、今後も継続して実施していく必要がある。

【事業】 98 人・農地プラン推進事業	【所管】 産業振興課 農政係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○人・農地プランの見直しの推進 ○青年就農給付金（1年150万円）と機構集積協力金の交付		【所見】 ： それぞれの集落・地域において話し合いを行い、集落・地域が抱える人と農地の問題を解決するための「人・農地プラン」（地域農業マスタープラン）を今後も継続して推進する必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：

平成29年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	21 活力ある産業の育成	
施策	02 魅力と成長力に富んだ商工業活動の振興	
内容	【現状】 全国的には緩やかながら回復基調にあるものの、地域経済への波及は限定的で、加えて燃料費をはじめとした原材料費の高止まり傾向が続くなど、依然として町内商工業者を取り巻く環境は厳しく、見通しは不透明な状況にある。 このような中、商工業者の経営基盤の強化と地域経済活性化のための施策が求められている。	
	【課題】 商工業者の経営基盤確立のため、出羽商工会による経営指導強化や円滑な資金調達のための金融対策を継続的に実施していく必要がある。 地域経済活性化のため、一層の需要（消費）拡大と新規事業開拓等に意欲的に取り組む事業者に対する支援が必要である。	
【外部評価結果】	【所見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： C. あまり達成できていない
70 勤労者福祉対策支援事業	産業振興課 商工観光係	【今後の方向性】 ：4. 一部改善策が必要
【取組】		【所見】 ：
○日本労働者信用基金協会保証料補給金の支出 ○勤労者生活安定資金の貸付		未組織勤労者等の企業等に働く勤労者に対するセーフティネットとして引き続き、労働金庫と連携し取り組む必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： A. 達成できている
71 商工会活動促進補助事業	産業振興課 商工観光係	【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】		【所見】 ：
○出羽商工会の活動に対する補助金支援		商工業者の経営基盤の強化のため、商工会による指導とともに特産品開発、観光振興のため、継続して支援する必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている
72 小売店業者振興支援事業	産業振興課 商工観光係	【今後の方向性】 ：8. その他
【取組】		【所見】 ：
○プレミアム付商品券の発行事業に対する補助支援 ○宅配サービス等を実施する事業所への支援		経済動向及び出羽商工会の意向を踏まえながら、毎年判断していく。

【事業】 73 商工業振興金融対策事業	【所管】 産業振興課 商工観光係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：4. 一部改善策が必要
【取組】 ○経営資金の調達を支援するための融資保証料の一部の補給支援		【所見】 ： 中小企業の資金調達に対する保証料負担の軽減支援は中小企業に対する商工振興のため、今後も持続的に取り組む必要がある。
【事業】 77 若者定着奨学金返還支援事業	【所管】 産業振興課 商工観光係	【評価結果】 ： C. あまり達成できていない 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○町内(県内)に戻り就業した若者に対する奨学金の返還支援		【所見】 ： 県の動向に合わせ、制度趣旨を広報する。
【事業】 78 「田からもの」逸品開発事業	【所管】 産業振興課 商工観光係	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○町内の企業等が町内外にPRできる町の新たな特産品等開発の支援 ○三川町産米を使用した酒の開発の委託		【所見】 ： 今後も日本酒醸造の企画をはじめ、三川町をPRできる商品開発の支援を行う。
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：

平成29年度 施策評価調査

基本目標 (政策)	22 交流人口の拡大	
施策	01 交流基盤の再構築	
内容	【現状】 人口減少が進む中、いろり火の里施設における交流の拡大や町観光協会主催の観光イベント及び人的ネットワーク等の活用により、地域活性化を図っている。	
	【課題】 本町の活性化及び町民所得の向上を図るには、観光振興は重要であり、みかわ振興公社や三川町観光協会を中心に、広域的な観点にたつて関係機関団体が連携した取り組みを計画的、かつ持続的に実施していくことが必要である。	
【外部評価結果】	【所見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている
70 「いろり火の里」推進事業	企画調整課 企画調整係	【今後の方向性】 ：3. 一層の拡充が必要
【取組】		【所見】 ：
○施設設備の維持更新等の大規模改修の実施 ○指定管理者制度の活用による集客の促進 ○運営コストに対応できる使用料等の見直し		施設の老朽化に対応するために大規模改修を進め、魅力ある施設整備を図るとともに、指定管理者制度による集客を目指した運営を図っていく必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 ：
		【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ：
		【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：

平成29年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	22 交流人口の拡大		
施策	02 交流基盤の強化		
内容	【現状】 少子高齢化に加え、長引く景気低迷などにより地域経済の活力が低下しているなかで、各種交流活動を通じた地域の活性化が求められている。 特に、町観光協会を中心として多様化する観光ニーズに対応するとともに、地場製品の販路拡大などに努めている。 また、国際化社会に対応できる人材育成を目指し、マクミンビル市との中学生の国際交流を継続的に行っている。		
	【課題】 望郷みかわ会との交流活動を通じて、人的ネットワークの活用等を図っていく必要がある。 町観光協会と連携しながら交流人口の拡大を図り、町の産業振興に結び付けていく必要がある。 国際感覚を養い、広い視点を持つ人材の育成を推進していく必要がある。		
【外部評価結果】	【所見】		
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要			
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている	
03 婚活推進事業	企画調整課 企画調整係	【今後の方向性】 ：3. 一層の拡充が必要	
【取組】	【所見】 ：		
○婚活活動を進める支援事業の実施	県や近隣市町、やまがた出会いサポートセンター等と連携を図りながら広域的な取り組みを継続して展開していく。 また、婚活イベントを企画実施する団体等への支援を行うとともに、婚活事業の積極的な情報提供を行っている。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている	
70 ふるさと会交流促進事業	産業振興課 商工観光係	【今後の方向性】 ：4. 一部改善策が必要	
【取組】	【所見】 ：		
○望郷みかわ会活動への支援	望郷みかわ会会員が減少しているため、会員が広く集まるよう支援をしていく。		
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： B. 概ね達成できている	
71 観光対策事業	産業振興課 商工観光係	【今後の方向性】 ：2. 現状維持	
【取組】	【所見】 ：		
○三川町観光協会活動の支援	交流人口の拡大に繋がる魅力あるイベントを実施していく。		

【事業】 72 国際交流推進事業	【所管】 教育委員会 教育課 学 校教育係	【評価結果】 ： A. 達成できている 【今後の方向性】 ：2. 現状維持
【取組】 ○マクミンビル市生徒受入、派遣にかかる旅費等の支出 ○ホームステイ受入家庭及び派遣生徒の確保		【所見】 ： 相互交流を基本に実施しており、国際交流経験者の蓄積となっている。交流経験者の今後における活躍に期待している。
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：

平成29年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	23 協働の推進	
施策	02 協働の推進	
内容	<p>【現状】 人口減少・高齢化時代の到来にともない、これまで地域コミュニティが担ってきた活動が衰退し、行政ニーズの増加につながっていくことが予想される。自らの地域づくりや課題解決に向けた取り組みについては、行政がすべて支援するのではなく、地域住民が力を合わせて「協働」による取り組みを推進しながら、地域コミュニティの活性化に向けた支援体制を維持している。</p> <p>【課題】 「協働」に対する意識醸成と取り組みの活性化を図るため、協働事業提案制度を活用しながら、自らの地域課題解決に取り組む団体等を支援していく必要がある。</p>	
【外部評価結果】	【所見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている
70 協働事業提案制度事業	企画調整課 企画調整係	【今後の方向性】 : 3. 一層の拡充が必要
【取組】		【所見】 :
○協働事業提案制度の活用促進 ○協働事業提案案件に対する支援		協働事業を実施する団体が少なくなっている現状を踏まえ、支援制度の積極的な周知に努め、町民の自主的な協働事業への参画を促していく。また、町民が活用しやすい制度にするため、要綱の見直しを行っていく必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている
71 地域づくり活動推進事業	企画調整課 企画調整係	【今後の方向性】 : 3. 一層の拡充が必要
【取組】		【所見】 :
○町内会に対する「自治振興交付金」の交付 ○協働事業の支援及びコミュニティ活動支援員の派遣 ○移住定住の促進に対する取り組み ○空き家バンク登録制度の活用		まちづくりのためには、地域の自主的な取り組みが不可欠であり、町内会自治振興交付金の交付やコミュニティ活動支援員の派遣等を行うことで町内会を引き続き支援していく。 また、空き家バンク登録制度の活用が少なく、空き家に対する総合的な取り組みが必要である。
【事業】	【所管】	【評価結果】 :
		【今後の方向性】 :
【取組】		【所見】 :

平成29年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	24 行財政改革の推進	
施策	01 行政サービスの質的な向上	
内容	【現状】 地方分権の進展及び多様化する行政ニーズに対応しながらも、交付税をはじめとした財源確保が厳しいなか行政運営を行っていくためには、人員適正化計画に伴う職員の適正配置に努め、行政事務の効率化を図っていく必要がある。	
	【課題】 人員の適正化に伴い、人件費の抑制を図るためには、行政事務を効率的に運用し、なおかつ行政サービスの質的向上を図るために民間や専門業者への業務委託等を活用していく必要がある。	
【外部評価結果】	【所見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : B. 概ね達成できている
70 電子情報化推進事業	企画調整課 企画調整係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持
【取組】		【所見】 :
○CMSを活用したホームページの積極的なコンテンツ作成による情報発信 ○総合行政ネットワーク(LGWAN)の管理・運営 ○山形県・市町村セキュリティクラウドの利用によるセキュリティ対策		ホームページのほか、町民等がスマートフォンや携帯電話から情報を入手できるアプリ配信を開始し、情報発信手段を拡充した。今後も正確かつタイムリーで魅力のある情報の発信に努めていく。
【事業】	【所管】	【評価結果】 : A. 達成できている
72 行政システム化推進事業	企画調整課 企画調整係	【今後の方向性】 : 3. 一層の拡充が必要
【取組】		【所見】 :
○電算処理業務の委託 ○事務システム運用支援業務の委託 ○行政事務システムの整備		システムのクラウド化及びネット環境に対するセキュリティソフトを導入したことにより、情報の安全性が確保されている。また、庄内町とのシステム共同利用によりコスト削減が図られている。 今後も引き続き情報システムのセキュリティ強化を行うとともに可能な限りコスト削減に努めていく。
【事業】	【所管】	【評価結果】 : A. 達成できている
74 戸籍システム推進事業	町民課 住民係	【今後の方向性】 : 2. 現状維持
【取組】		【所見】 :
○戸籍システムの整備・管理・運営 ○戸籍副本データ管理システムの整備		迅速な謄抄本の交付が可能になり、住民サービスが向上した。関連戸籍が一括管理され、記載作業も効率化が図られ、かつ正確性が保たれている。戸籍副本データ管理システムにより、災害時におけるデータの安全性の確保も図られている。

【事業】 75 学校給食調理業務等委託事業	【所管】 教育委員会 教育課 学校教育係	【評価結果】 ： A. 達成できている 【今後の方向性】 ： 2. 現状維持
【取組】 ○民間事業者へ給食調理業務等の委託		【所見】 ： 民間業者の専門的な技術と経験を活用するために学校給食調理業務等を委託している。「自校調理方式」により安全・安心な学校給食の提供を継続していく必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ：
【取組】		【所見】 ：

平成29年度 施策評価調書

基本目標 (政策)	24 行財政改革の推進	
施策	02 人材育成と組織・機構の見直し	
内 容	【現 状】 地方分権が進み、地方自治体には自己決定と自己責任に基づく自主自立の精神が強く求められ、職員には制度を画一的に執行する能力だけでなく、高い専門性と、多様な住民ニーズに応え行政課題を着実に解決する能力が求められている。	
	【課 題】 今後、益々推し進められる地方分権に対応するためには、職員の資質向上が不可欠であり、そのためには計画的に研修を積み重ねる必要がある。	
【外部評価結果】	【所 見】	
1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		
【事業】	【所 管】	【評価結果】 ：
70 職員研修事業	総務課 総務係	B. 概ね達成できている
【取 組】		【今後の方向性】 ：
○高度な研修の受講及び職員自ら企画する先進地視察研修が可能な体制の整備		2. 現状維持
		【所 見】 ：
		希望する職員への先進地視察及び研修機関による専門研修の受講機会を確保し、新たな計画策定等に資することができた。 当該事業の継続により、引き続き職員の資質向上に努めることとする。
【事業】	【所 管】	【評価結果】 ：
【取 組】		【今後の方向性】 ：
		【所 見】 ：
【事業】	【所 管】	【評価結果】 ：
【取 組】		【今後の方向性】 ：
		【所 見】 ：